

# MR-GM3 シリーズ ファームウェア V1.03.14 補足説明書

本書では、ファームウェア V1.03.14 で仕様変更された機能のみを説明します。  
本書に記載されている以外の内容については、製品に添付されているユーザーズマニュアルを  
参照して下さい。

## 1. 一部設定仕様の変更について

ファームウェア V1.03.14 より、「WAN 側から設定画面へのログオンを許可する設定」及び「WAN 側からの PING 応答を返す設定」について、以下の通り仕様を変更しました。

### ●変更前(V1.03.07 まで)

- 「ネットワーク設定」→「WAN 設定」内の「WAN 側から設定画面へのログオンを許可する」にチェックを入れる。
- 「ネットワーク設定」→「WAN 設定」内の「WAN 側からの PING 応答を返す」にチェックを入れる。

### ●変更後(V1.03.14 以降)

- 「ファイアウォール設定」→「IP フィルタリング設定」にフィルタを登録する。

仕様変更後の設定方法については、以降のページを参照して下さい。

## 2. WAN側から設定画面へのログオンを許可する設定方法

ファームウェア V1.03.14 以降で「WAN 側から設定画面へのログオンを許可する設定」を行う場合、以下の手順で設定を行って下さい。

設定メニューの「ファイアウォール設定」より「IPフィルタリング設定」をクリックして下さい。



「IP フィルタリング機能を有効にする」にチェックを入れ、以下のテーブルを追加して下さい。

<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルタリング機能を有効にする	
送信元IPアドレス/マスク	<input type="text"/> / <input type="text"/> (1~32)
宛先IPアドレス/マスク	<input type="text"/> / <input type="text"/> (1~32)
プロトコル	TCP ▼
送信元ポート	<input type="text"/> - <input type="text"/> (0~65535)
宛先ポート	80 - 80 (0~65535)
送信元インターフェース	WAN ▼
宛先インターフェース	自機 ▼
フィルタ動作	透過 ▼
コメント	<input type="text"/> (半角英数字20文字以内)
<input type="button" value="リストへ登録・設定保存"/>	

### ■送信元IP アドレス/マスク

特定の IP アドレスからのみ設定画面へのログオンを許可する場合、対象のIPアドレスとサブネットマスクを入力して下さい。指定しない場合は空欄にして下さい。

### ■宛先IP アドレス/マスク

空欄にして下さい。

### ■プロトコル

「TCP」を選択して下さい。

### ■送信元ポート

空欄にして下さい。

### ■宛先ポート

「80」を入力して下さい。

Web ポート(アクセスポート番号)を変更している場合は、変更したポート番号を入力して下さい。

### ■送信元インターフェース

「WAN」を選択して下さい。

### ■宛先インターフェース

「自機」を選択して下さい。

### ■フィルタ動作

「透過」を選択して下さい。

設定が終わりましたら、[リストへ登録・設定保存]ボタンをクリックして下さい。

<次ページへ進んで下さい>

IP フィルタリング登録リストに登録されます。

IPフィルタリング登録リスト(64エントリまで登録可能)									
送信元P/マスク	宛先P/マスク	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	送信元IF	宛先IF	フィルタ動作	コメント	選択
any	any	TCP	any	80 - 80	WAN	自機	透過		<input type="checkbox"/>
選択したエントリを編集		選択したエントリを一つ上げる			選択したエントリを一つ下げる				
選択したエントリを削除		全て削除							

登録が完了すると、WAN 側から設定画面にログインする事が可能になります。

登録後、「ネットワーク設定」→「WAN 設定」内の「WAN 側からの設定ログオン」のステータスが有効に変わり、アタック検出設定が可能になります。

WAN側からの設定画面ログオン:有効	
アタック検出	30 30秒間に許容する最大TCP/IPコネクション数。(0~65535)

●設定例:IP アドレス「111.111.111.111/32」からの設定画面へのログオンのみ許可する

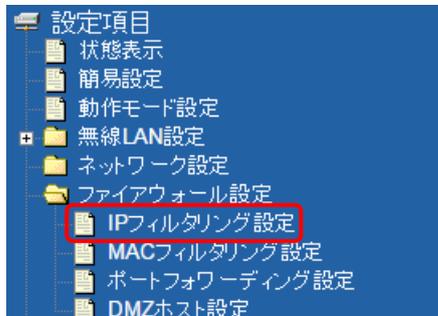
送信元P/マスク	宛先P/マスク	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	送信元IF	宛先IF	フィルタ動作	コメント	選択
111.111.111.111/32	any	TCP	any	80 - 80	WAN	自機	透過		<input type="checkbox"/>

※複数の IP アドレスからの設定画面へのログオンを許可する場合、上記フィルタを複数登録して下さい。

### 3. WAN側からのPing応答を返す設定方法

ファームウェア V1.03.13 以降で「WAN 側から設定画面へのログオンを許可する設定」を行う場合、以下の手順で設定を行って下さい。

設定メニューの「ファイアウォール設定」より「IPフィルタリング設定」をクリックして下さい。



#### IPフィルタリング設定

送信元のIPアドレス/サブネットマスク/ポート番号/インターフェースを設定を行います。

IPフィルタリング機能を有効にする  
送信元IPアドレス/マスク

「IPフィルタリング機能を有効にする」にチェックを入れ、以下のテーブルを追加して下さい。

<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルタリング機能を有効にする	
送信元IPアドレス/マスク	<input type="text"/> / <input type="text"/> (1~32)
宛先IPアドレス/マスク	<input type="text"/> / <input type="text"/> (1~32)
プロトコル	ICMP ▼
送信元ポート	<input type="text"/> - <input type="text"/> (0~65535)
宛先ポート	<input type="text"/> - <input type="text"/> (0~65535)
送信元インターフェース	WAN ▼
宛先インターフェース	自機 ▼
フィルタ動作	透過 ▼
コメント	<input type="text"/> (半角英数字20文字以内)
<input type="button" value="リストへ登録・設定保存"/>	

#### ■送信元IP アドレス/マスク

特定の IP アドレスからの PING にのみ応答する場合、対象のIPアドレスとサブネットマスクを入力して下さい。指定しない場合は空欄にして下さい。

#### ■宛先IP アドレス/マスク

空欄にして下さい。

#### ■プロトコル

「ICMP」を選択して下さい。

#### ■送信元ポート

空欄にして下さい。

#### ■宛先ポート

空欄にして下さい。

#### ■送信元インターフェース

「WAN」を選択して下さい。

#### ■宛先インターフェース

「自機」を選択して下さい。

#### ■フィルタ動作

「透過」を選択して下さい。

設定が完了しましたら、[リストへ登録・設定保存]ボタンをクリックして下さい。

<次ページへ進んで下さい>

IP フィルタリング登録リストに登録されます。

IPフィルタリング登録リスト(64エントリまで登録可能)									
送信元P/マスク	宛先P/マスク	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	送信元IP	宛先IP	フィルタ動作	コメント	選択
any	any	ICMP	any	any	WAN	自機	透過		<input type="checkbox"/>
選択したエントリを編集		選択したエントリを一つ上げる			選択したエントリを一つ下げる				
選択したエントリを削除		全て削除							

登録が完了すると、WAN 側からの PING に応答します。

登録後、「ネットワーク設定」→「WAN 設定」内の「WAN 側からの PING 応答」のステータスが有効に変わり、アタック検出設定が可能になります。

<b>WAN側からのPing応答:有効</b>	
<b>アタック検出</b>	<input type="text" value="5"/> 1秒間に許容するPingアクセス数。(0~65535)

●設定例:IP アドレス「111.111.111.111/32」からの PING にのみ応答を返す

送信元P/マスク	宛先P/マスク	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	送信元IP	宛先IP	フィルタ動作	コメント	選択
111.111.111.111/32	any	ICMP	any	any	WAN	自機	透過		<input type="checkbox"/>

※複数の IP アドレスからの PING に応答を返す場合、上記フィルタを複数登録して下さい。